資料　2

参考資料

ページ

1　市内の水田の利活用状況について　・・・・・・・・・・・・・・　1

2　統計からみる西脇市の現状　・・・・・・・・・・・・・・・　2

3　〃　北播磨地域の西脇市の現状　・・・・・・・・・・　4

4　西脇市の担い手リスト　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

5　担い手の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

6　最終消費からみた飲食費の流れ　・・・・・・・・・・・・・・・　8

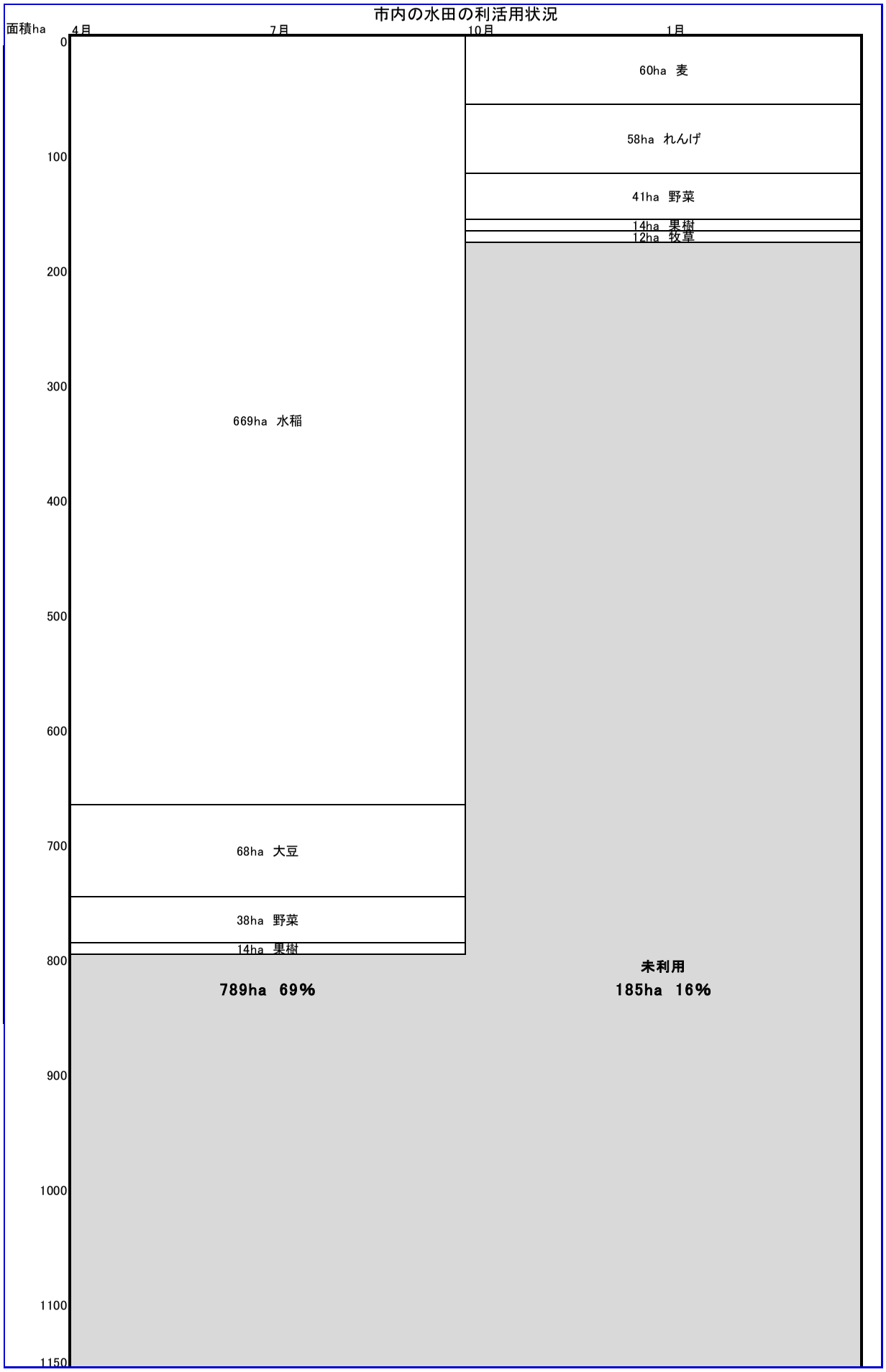
7　西脇市有機の里づくり　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

8　山下委員資料「おやこ食育アカデミー」　・・・・・・・・・・　１０

9　用語集　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　資料-1～6

平成 25 年 5 月 27 日

西脇市　農林振興課


市内の水田の利活用状況
面積ha
4月
7月
10月
1月
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1150
669ha 水稲
68ha 大豆
38ha 野菜
14ha 果樹
789ha 69%
60ha 麦
58ha れんげ
41ha 野菜
14ha 果樹
12ha 牧草
未利用
185ha 16%

統計からみる西脇市の現状

農業編　　都道府県名　兵庫県　　市町村名　　西脇市

経営体数

農業経営体数	法人化している経営体数	農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人	地方公共団体・財産区	法人化していない経営体数	うち、個人経営体数
経営体	経営体	経営体	経営体	経営体	経営体	経営体	経営体	経営体
831	4	1	3	－	－	－	827	816

農家数

農家数	自給的農家	販売農家	主副業分類			専兼業分類			経営耕地規模別農家数(販売農家)				
			主業農家	準主業農家	副業的農家	専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家	0.5ha未満	0.5～1.0ha	1.0～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0ha以上
戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
1508	693	815	52	115	648	81	77	657	255	348	161	22	29

農家人口

農家人口(2005年)		
計	男	女
人	人	人
6939	3409	3530

基幹的農業従事者数

基幹的農業従事者数					
計	うち65歳未満	男	うち65歳未満	女	うち65歳未満
人	人	人	人	人	人
280	99	219	76	61	23

性別・年齢別基幹的農業従事者(男)

基幹的農業従事者(男)												
15～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
－	－	2	2	1	4	5	8	20	34	25	29	89

性別・年齢別基幹的農業従事者(女)

基幹的農業従事者(女)												
15～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
－	－	－	－	1	1	1	5	7	8	8	11	19

性別・年齢別農業就業人口(男)

農業就業人口(男)												
15～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
4	2	3	2	1	5	6	11	26	54	62	78	177

性別・年齢別農業就業人口(女)

農業就業人口(女)												
15～19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
2	2	－	2	2	4	4	18	25	41	55	55	98

耕地面積

耕地面積	田耕地面積	畑耕地面積				作付延べ面積	耕地利用率
計	計	計	普通畑	樹園地	牧草地		
ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	%
1160	1150	13	…	…	…	…	…

普通作物(水稲・陸稲・麦類)

水稲		陸稲		麦類							
				小麦		二条大麦		六条大麦		裸麦	
作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
669	3110	－	－	59	114	－	－	－	－	－	－

普通作物(豆類・かんしょ・そば)

豆類								かんしょ		そば	
大豆		小豆		いんげん		らっかせい					
作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
68	80	2	…	…	…	…	…	6	…	－	…

飼料作物

飼料作物							
牧草		青刈りとうもろこし		ソルゴー		青刈りえん麦	
作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
23	…	2	…	4	…	…	…

統計からみる西脇市の現状

工芸農作物

工芸農作物											
茶		こんにゃくいも		葉たばこ		てんさい		さとうきび		い	
栽培面積	生葉収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

野菜

だいこん		にんじん		ばれいしょ		さといも		はくさい		キャベツ		ほうれんそう	
作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
10	312	…	…	…	…	…	…	…	…	4	122	2	24

野菜（つづき）

レタス		ねぎ		たまねぎ		きゅうり		なす		トマト		ピーマン	
作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
…	…	3	44	5	127	5	85	…	…	6	130	…	…

果樹

みかん		なつみかん		はっさく		いよかん		ネーブルオレンジ		りんご		ぶどう	
結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量
ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
–	–	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	1	17

果樹（つづき）

日本なし		西洋なし		もも		すもも		おうとう		うめ		びわ	
結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量
ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
–	–	…	…	–	–	…	…	…	…	1	3	–	–

果樹（つづき）

かき		くり		キウイフルーツ		パインアップル	
結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量	結果樹面積	収穫量	収穫面積	収穫量
ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
5	27	7	8	…	…	…	…

花き（切り花類）

切り花類									
きく		カーネーション		ばら		トルコギキョウ		ゆり	
作付面積	出荷量	作付面積	出荷量	作付面積	出荷量	作付面積	出荷量	作付面積	出荷量
a	千本	a	千本	a	千本	a	千本	a	千本
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

花き（鉢もの類・花壇用苗もの類）

鉢もの類				花壇用苗もの類			
シクラメン		花木類		パンジー		サルビア	
収穫面積	出荷量	収穫面積	出荷量	作付面積	出荷量	作付面積	出荷量
a	千本	a	千本	a	千本	a	千本
…	…	…	…	…	…	…	…

畜産

畜産									
乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数
戸	頭	戸	頭	戸	頭	戸	千羽	戸	千羽
8	420	18	1470	–	–	1	x	…	…

農業産出額(耕種)

合計	耕種										
	計	米	麦類	雑穀	豆類	いも類	野菜	果実	花き	工芸農作物	種苗・苗木類・その他
千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円
166	112	83	1	–	1	2	24	1	0	–	–

農業産出額(畜産)

畜産									加工農産物
計	肉用牛	乳用牛	生乳	豚	鶏	鶏卵	ブロイラー	その他畜産物	
千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円
54	x	23	22	–	x	x	–	–	–

＜指標データ　1＞

農家数(販売農家)			農家人口			基幹的農業従事者数			総人口			就業人口	総土地面積	総世帯数
2000	2005	2010	1995	2000	2005	2000	2005	2010	2000	2005	2010			
戸	戸	戸	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	ha	戸
1086	919	815	8.827	7.861	6.939	296	237	280	45718	43953	42812	21616	13247	14979

＜指標データ　2＞

耕地率	水田率	農家率	販売農家率						農業産出額の品目別割合（上位3品目）			
									米	野菜	乳用牛	その他
%	%	%	%						%	%	%	%
8.8	99.1	10.1	54.0						50	14	14	22

	全国	兵庫県	北はりま計	西脇市	三木市	小野市	加西市	加東市	多可町	単位
総土地面積①	37,794,653	839,589	89,556	13,247	17,658	9,292	15,095	15,749	18,515	ha
林野面積	24,845,302	562,100	49,724	9,400	7,392	3,536	6,608	7,826	14,962	ha
耕地面積③	4,561,000	76,300	14,700	1,160	3,130	2,360	3,710	2,900	1,440	ha
田耕地面積②	2,474,000	69,800	14,180	1,140	2,980	2,300	3,530	2,840	1,390	ha
②/①平坦地の割合	7%	8%	16%	**9%**	17%	25%	23%	18%	8%	
畑耕地面積	2,087,000	6,490	534	16	153	58	188	65	54	ha
総人口	128,057,352	5,588,133	284,769	42,802	81,009	49,680	47,993	40,181	23,104	人
総世帯数	51,950,504	2,255,318	95,995	14,989	28,506	16,470	15,188	14,133	6,709	世帯
農業経営体数	1,679,084	57,766	11,095	831	2,424	1,766	2,664	2,219	1,191	経営体
総農家数④	2,527,948	95,499	15,708	1,508	3,054	2,449	3,828	2,900	1,969	戸
③/④一戸当面積ha	1.80	0.80	0.94	**0.77**	1.02	0.96	0.97	1.00	0.73	
自給的農家数	896,742	38,706	4,805	693	674	712	1,220	712	794	戸
販売農家数⑧	1,631,206	56,793	10,903	815	2,380	1,737	2,608	2,188	1,175	戸
販売農家/総農家⑧/④	65%	59%	69%	**54%**	78%	71%	68%	75%	60%	
主業農家数	359,720	5,209	504	52	188	65	69	94	36	戸
準主業農家数	388,883	11,179	2,001	115	565	291	381	451	198	戸
副業的農家数	882,603	40,405	8,398	648	1,627	1,381	2,158	1,643	941	戸
販売農家数・稲	1,160,030	45,528	9,713	687	2,282	1,517	2,217	2,026	984	戸
販売農家数・麦類	56,559	508	217	48	2	19	37	107	4	戸
販売農家数・雑穀	39,167	478	48	11	10	2	9	2	14	戸
販売農家数・いも類	115,140	2,522	256	31	67	43	47	38	30	戸
販売農家数・豆類	127,204	7,102	991	103	279	122	94	211	182	戸
販売農家数・工芸農作物	75,321	408	35	21	－	2	4	4	4	戸
販売農家数・野菜類	434,742	12,285	888	72	285	165	141	120	105	戸
販売農家数・花き類	66,889	1,778	165	8	68	29	18	19	23	戸
販売農家数・果樹	242,344	2,297	275	10	108	32	82	32	11	戸
販売農家数・乳用牛	21,989	549	58	8	17	14	9	9	1	戸
販売農家数・肉用牛	65,085	1,678	45	15	11	7	6	5	1	戸
販売農家数・豚	3,855	21	2	－	－	－	1	1	－	戸
販売農家数・採卵鶏	4,012	105	22	－	6	5	3	4	4	戸
販売農家数・ブロイラー	1,853	47	7	－	－	1	－	－	6	戸
農業就業人口	2,605,736	73,366	10,589	739	2,568	1,506	2,455	2,309	1,012	人
農業集落数	139,176	3,745	501	62	117	65	117	78	62	集落
農産物直売所数	16,816	391	48	7	10	4	8	9	10	施設
水稲作付面積	1,625,000	38,800	8,566	669	1,970	1,350	1,970	1,760	847	ha
水稲収穫量	8,478,000	188,600	40,460	3,110	9,040	6,590	9,590	8,340	3,790	t
小麦作付面積	206,900	1,960	522	62	－	100	228	118	14	ha
小麦収穫量	571,300	3,450	760	110	－	122	332	178	18	t
大豆作付面積	137,700	2,720	693	66	116	122	118	166	105	ha
大豆収穫量	222,500	2,450	581	52	118	98	107	125	81	t
小豆作付面積	30,700	673	16	2	4	2	2	3	3	ha
小豆収穫量	54,900	545	0	…	…	…	…	…	…	t
かんしょ作付面積	39,700	300	52	6	13	6	10	9	8	ha
かんしょ収穫量	863,600		0							t
そば作付面積	47,700	442	5	－	X	X	4	X	1	ha
そば収穫量	29,700	208	5	－	X	X	4	X	1	t
なたね作付面積	1,690	25	0	－	－	－	X	－	X	ha
なたね収穫量	1,570	14	0	－	－	－	X	－	X	t
牧草作付面積	759,100	951	301	23	48	130	69	15	16	ha
牧草収穫量	27,580,000	52,600	0	…	…	…	…	…	…	t
青刈りとうもろこし作付面積	92,200	179	28	2	5	7	8	5	1	ha
青刈りとうもろこし収穫量	4,643,000	8,410	0	…	…	…	…	…	…	t
ソルゴー作付面積	17,900	1,010	129	4	20	23	69	9	4	ha
ソルゴー収穫量	1,001,000	56,000	0	…	…	…	…	…	…	t
だいこん作付面積	35,700	492	91	10	12	13	29	15	12	ha
だいこん収穫量	1,496,000	16,800	3,091	312	407	442	1,081	509	340	t
にんじん作付面積	19,000	127	10	2	2	2	2	2	0	ha
にんじん収穫量	526,600	2,240	134	21	26	24	27	27	9	t
ばれいしょ作付面積	82,500	375	74	7	11	9	27	11	9	ha
ばれいしょ収穫量	2,290,000	4,120	766	70	109	90	295	112	90	t
さといも作付面積	13,800	185	29	5	5	4	6	6	3	ha
さといも収穫量	167,600	2,000	288	42	52	46	66	58	24	t
はくさい作付面積	18,300	442	48	6	9	7	11	8	7	ha
はくさい収穫量	888,700	20,000	1,415	172	268	213	338	235	189	t
キャベツ作付面積	33,300	890	17	4	3	3	4	1	2	ha
キャベツ収穫量	1,360,000	32,900	601	122	113	119	118	63	66	t

ほうれんそう作付面積	22,100	305	12	2	2	2	2	3	1	ha
ほうれんそう収穫量	269,000	4,090	187	24	37	33	38	36	19	t
レタス作付面積	20,900	1,290	4	0	4	0	0	0	0	ha
レタス収穫量	537,900	35,200	82	3	69	6	3	1	0	t
ねぎ作付面積	23,100	315	21	3	4	4	5	3	2	ha
ねぎ収穫量	477,500	6,200	376	44	74	73	90	59	36	t
たまねぎ作付面積	24,000	1,640	26	5	4	3	6	4	4	ha
たまねぎ収穫量	1,042,000	91,000	748	127	121	77	175	126	122	t
きゅうり作付面積	12,100	202	33	5	5	5	8	5	5	ha
きゅうり収穫量	587,800	4,010	712	85	105	133	189	106	94	t
なす作付面積	10,300	231	48	6	11	6	8	11	6	ha
なす収穫量	330,100	4,530	1,030	117	278	106	152	256	121	t
トマト作付面積	12,300	273	45	6	9	9	8	8	5	ha
トマト収穫量	690,900	7,530	1,240	130	289	323	228	169	101	t
ピーマン作付面積	3,430	102	12	1	4	1	2	3	1	ha
ピーマン収穫量	137,300	2,240	294	27	107	29	52	53	26	t
野菜総面積	370,530	7,169	522	68	98	74	128	89	65	
野菜総収穫量	11,665,000	232,860	10,964	1,296	2,055	1,714	2,852	1,810	1,237	
ぶどう結果樹面積	18,000	282	127	1	61	10	48	7	0	ha
ぶどう収穫量	184,800	2,400	1,412	17	675	108	542	68	2	t
日本なし結果樹面積	13,900	93	1				0	0	1	ha
日本なし収穫量	258,700	1,320	8				1	1	6	t
もも結果樹面積	10,000		7		0	0	0	7	0	ha
もも収穫量	136,700		85		1	1	1	81	1	t
うめ結果樹面積	16,900		8	1	2	1	2	0	2	ha
うめ収穫量	92,400		20	3	4	3	5	1	4	t
びわ結果樹面積	1,630	46	0							ha
びわ収穫量	5,700	205	0							t
かき結果樹面積	22,400		33	5	5	3	7	5	8	ha
かき収穫量	189,400		200	27	31	19	44	32	47	t
くり結果樹面積	21,700	658	53	7	23	0	9	8	6	ha
くり収穫量	23,500	454	64	8	27	0	12	10	7	t
果樹総面積	104,530	1,079	229	14	91	14	66	27	17	
果樹総収穫量	891,200	4,379	1,789	55	738	131	605	193	67	
乳用牛飼養戸数	21,000	477	77	8	21	21	15	10	2	戸
乳用牛飼養頭数	1,467,000	18,400	3,810	420	720	1,160	1,130	380 X		頭
肉用牛飼養戸数	69,600	1,820	57	18	11	8	15	2	3	戸
肉用牛飼養頭数	2,763,000	55,700	4,130	1,470	600	470	1,420 X		170	頭
豚飼養戸数	6,010	38	6 –		–	1	4	1 –		戸
豚飼養頭数	9,768,000	23,600	1,220 –		–	X	1,220 X	–		頭
採卵鶏飼養戸数	2,930	73	28	1	7	7	8 –		5	戸
採卵鶏飼養羽数	175,917	5,418	1,212 X		240	410	538 –		24	千羽
農業産出額合計⑤	825,510	14,450	2,209	166	587	404	515	338	199	千万円
⑤/④一戸当産出額万円	327	151	141	**110**	192	165	135	117	101	万円
農業産出額耕種計⑥	555,130	9,390	1,569	112	488	217	305	315	132	千万円
⑥/④一戸当耕種産出額万円	220	98	100	**74**	160	89	80	109	67	万円
米を除く産出額⑦	397,910	5,570	472	29	191	58	91	66	37	万円
⑦/④一戸当産出額万円	157	58	30	**19**	63	24	24	23	19	万円
市町村別農業産出額・米	157,220	3,820	1,097	83	297	159	214	249	95	千万円
市町村別農業産出額・麦類	5,040	20	11	1	–	2	5	3	0	千万円
市町村別農業産出額・雑穀	990	10	0 –		0	0	0	0	0	千万円
市町村別農業産出額・豆類	6,200	240	18	1	3	3	3	5	3	千万円
市町村別農業産出額・いも類	21,000	90	14	2	3	2	3	2	2	千万円
市町村別農業産出額・野菜	224,850	4,320	324	24	140	45	47	45	23	千万円
市町村別農業産出額・果実	74,970	280	60	1	25	6	20	6	2	千万円
市町村別農業産出額・花き	35,120	530	44	0	19	1	12	5	7	千万円
市町村別農業産出額・工芸農作物	21,430	20	1 –		–	–	0	1	0	千万円
市町村別農業産出額・種苗・苗木類・その他	8,310	80	2 –		2	0	0	0	0	千万円
市町村別農業産出額畜産計	264,750	5,040	639	54	99	187	210	23	66	千万円
市町村別農業産出額・肉用牛	50,770	1,140	51 X		9	8	34 X	X		千万円
市町村別農業産出額・乳用牛	77,330	1,260	210	23	40	64	62	21	X	千万円
市町村別農業産出額・乳用牛うち 生乳	67,750	1,140	197	22	37	60	58	20	X	千万円
市町村別農業産出額・豚	53,520	160	6 –		–	X	6 X	–		千万円
市町村別農業産出額・鶏	77,950	2,460	206 X		50	X	108 X		48	千万円
市町村別農業産出額・鶏うち鶏卵	44,240	1,560	54 X		49	X	X	X	5	千万円
市町村別農業産出額・鶏うちブロイラー	28,780	730	5 –		–	X	X	–	5	千万円
市町村別農業産出額・その他畜産物	5,180	20	0 –		–	–	–	–	–	千万円
市町村別農業産出額・加工農産物	5,620	10	0 –		–	–	0	0	0	千万円

《　担い手リスト　》

認定農業者

No.	参加している集落営農組織名	氏名	経営規模面積(ha)	営農類型	経営形態	水田経営所得安定対策の加入の有無	水田経営所得安定対策の加入品目
1	高松町営農組合	岡本　瑞穂	0.9	酪農	個人経営		
2	住吉町営農組合	(有)オカモト	0.6	酪農	法人経営		
3	高松町営農組合	丸山　和行	0.0	酪農	個人経営		
4	石原営農組合	大山　芳孝	3.2	水稲＋作業受託	個人経営		
5	前坂協同農事組合	川岸　裕人	1.2	肥育牛＋繁殖牛	個人経営		
6	西沢転作組合	飛田　佐代子	3.3	肥育牛＋水稲	個人経営		
7	前坂協同農事組合	池田　博行	6.7	肥育牛＋水稲	個人経営	有	水稲
8	前坂協同農事組合	山崎　壽一	1.3	肥育牛＋水稲	個人経営	有	
9	田高区農会	荻野　年計	5.8	水稲＋作業受託	個人経営	有	水稲
10		廣田　誠	0.8	肥育牛＋水稲	個人経営		
11		石井　一隆	4.0	水稲＋大豆＋作業受託	個人経営		
12	津万井区農会	石井　正己	4.6	水稲＋大豆＋作業受託	個人経営		
13	明楽寺町	宇仁　忠夫	8.9	水稲＋作業受託	個人経営	有	水稲
14	前坂協同農事組合	東田　三男	6.7	水稲＋大豆	個人経営	有	水稲
15	石原営農組合	宮崎　延晶	5.7	水稲＋大豆＋作業受託	個人経営	有	水稲
16		本田　則幸	0.7	施設野菜＋水稲	個人経営		
17	喜多営農生産組合	竹井　安夫	3.4	水稲＋大豆	個人経営		
18		内橋　勝信	3.5	水稲＋たまねぎ＋作業受託	個人経営		
19		篠田　重一	0.4	施設いちご	個人経営		
20		松原　豊樹	4.4	水稲＋黒大豆＋たまねぎ＋作業受託	個人経営		
21	黒田営農組合	大西　佳奈子	3.1	水稲＋小麦＋黒大豆	個人経営		
22	大伏転作組合	宮崎　隆	1.2	水稲＋黒大豆＋作業受託	個人経営		
23	福地転作組合	村上　正弘	2.9	水稲＋黒大豆＋作業受託	個人経営		
24	黒田営農組合	森脇　延之	4.3	水稲＋黒大豆＋作業受託	個人経営		
25	出会町営農組合	清瀬　純一	4.0	水稲＋黒大豆＋たまねぎ＋作業受託	個人経営		
26	前坂協同農事組合	東野　哲也	2.7	水稲＋黒大豆･野菜＋作業受託	個人経営		
27	前坂協同農事組合	枡田　翔太	2.3	水稲＋黒大豆＋たまねぎ＋作業受託	個人経営		
28		津田　明央	0.5	水稲＋作業受託	個人経営		
	合　計		87.1				

集落営農組織

No.	集落名	経営規模面積(ha)	営農類型	経営形態	水田経営所得安定対策の加入の有無	水田経営所得安定対策の加入品目
1	嶋営農組合	0.0	土地利用集積型	任意組織		
2	富吉上町営農組合	8.7	土地利用集積型	任意組織		
3	市原町営農組合	4.8	土地利用集積型	任意組織		
4	大木町営農組合	16.0	土地利用集積型	任意組織	有	水稲＋麦
5	野中町集団転作営農組合	0.0	土地利用集積型	任意組織		
6	羽安町営農組合	4.7	土地利用集積型	任意組織		
7	高松町営農組合	0.0	土地利用集積型	任意組織		
8	谷町営農組合	0.0	土地利用集積型	任意組織		
9	上比延町営農組合	6.6	土地利用集積型	任意組織	有	麦
10	中畑町営農組合	14.5	土地利用集積型	任意組織	有	水稲＋麦
11	住吉町営農組合	0.0	土地利用集積型	任意組織		
12	明楽寺町営農生産組合	7.4	土地利用集積型	任意組織	有	麦
13	水尾町集団転作営農組合	0.0	土地利用集積型	任意組織		
14	上王子町営農組合	0.7	土地利用集積型	任意組織		
15	出会町営農組合	0.0	土地利用集積型	任意組織		
16	喜多営農生産組合	5.8	土地利用集積型	任意組織	有	麦
17	大門転作組合	0.0	団地化型	任意組織		
18	津万井区農会	0.0	土地利用集積型	任意組織		
19	福地転作組合	2.4	土地利用集積型	任意組織		
20	門柳営農組合	6.0	土地利用集積型	任意組織	有	麦
21	大伏転作組合	6.1	土地利用集積型	任意組織	有	麦
22	西沢転作組合	0.0	土地利用集積型	任意組織		
23	石原営農組合	8.7	土地利用集積型	任意組織	有	麦
24	田高区農会	0.0	土地利用集積型	任意組織		
25	船町転作組合	0.0	土地利用集積型	任意組織		
26	小苗営農生産組合	4.5	土地利用集積型	任意組織	有	水稲＋麦
27	黒田営農組合	13.0	土地利用集積型	任意組織	有	麦
28	前坂協同農事組合	3.5	土地利用集積型･団地化型	任意組織		

担い手の推移（H19～H25）

		H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25		
		認定数	前年比	認定数	前年比	認定数	前年比	認定数	前年比	認定数	前年比	認定数	前年比	認定数	前年比	19年比
認定農業者	土地利用型	8	―	7	▲ 1	7	0	12	5	11	▲ 1	16	5	18	2	10
	施設園芸	0	―	0	0	0	0	1	1	2	1	2	0	2	0	2
	酪農	6	―	6	0	6	0	6	0	6	0	5	▲ 1	3	▲ 2	−3
	肥育牛	8	―	7	▲ 1	7	0	7	0	7	0	5	▲ 2	5	0	−3
	採卵養鶏	1	―	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	▲ 1	−1
小計		23	―	21	▲ 2	21	0	27	6	27	0	29	2	28	▲ 1	5
集落営農組織		31	―	31	0	31	0	30	▲ 1	30	0	28	▲ 2	28	0	−3
合計		54	―	52	▲ 2	52	0	57	5	57	0	57	0	56	▲ 1	2

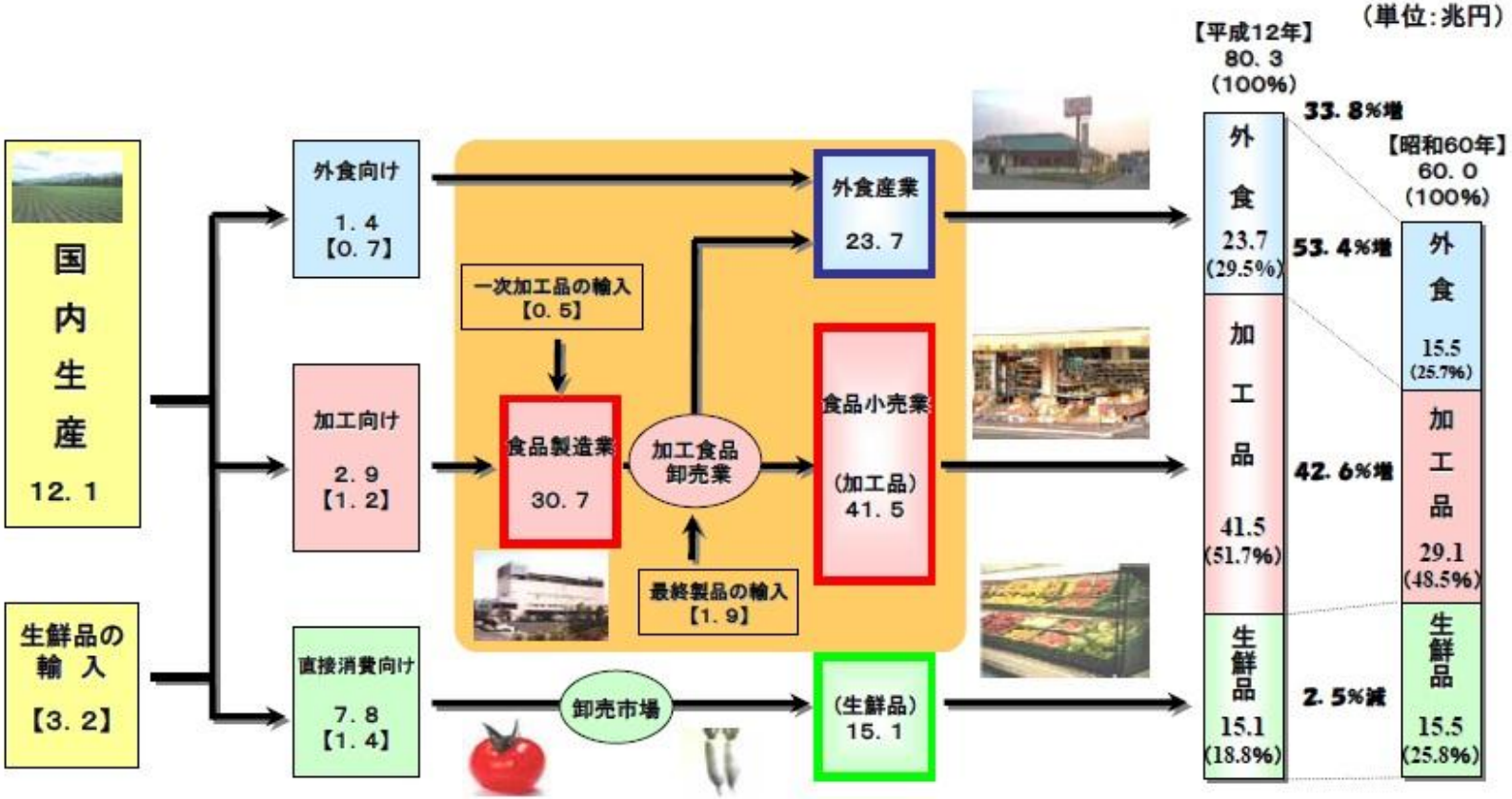
認定農業者については、土地利用型、施設園芸が増加している反面、酪農、肥育牛、採卵養鶏などの畜産業が減少している。
集落営農組織については、微減しているものの、ほぼ横ばいである。

Ⅰ　食品産業（加工・流通・外食）の現状と社会情勢の変化

1．最終消費から見た飲食費の流れ（平成12年）

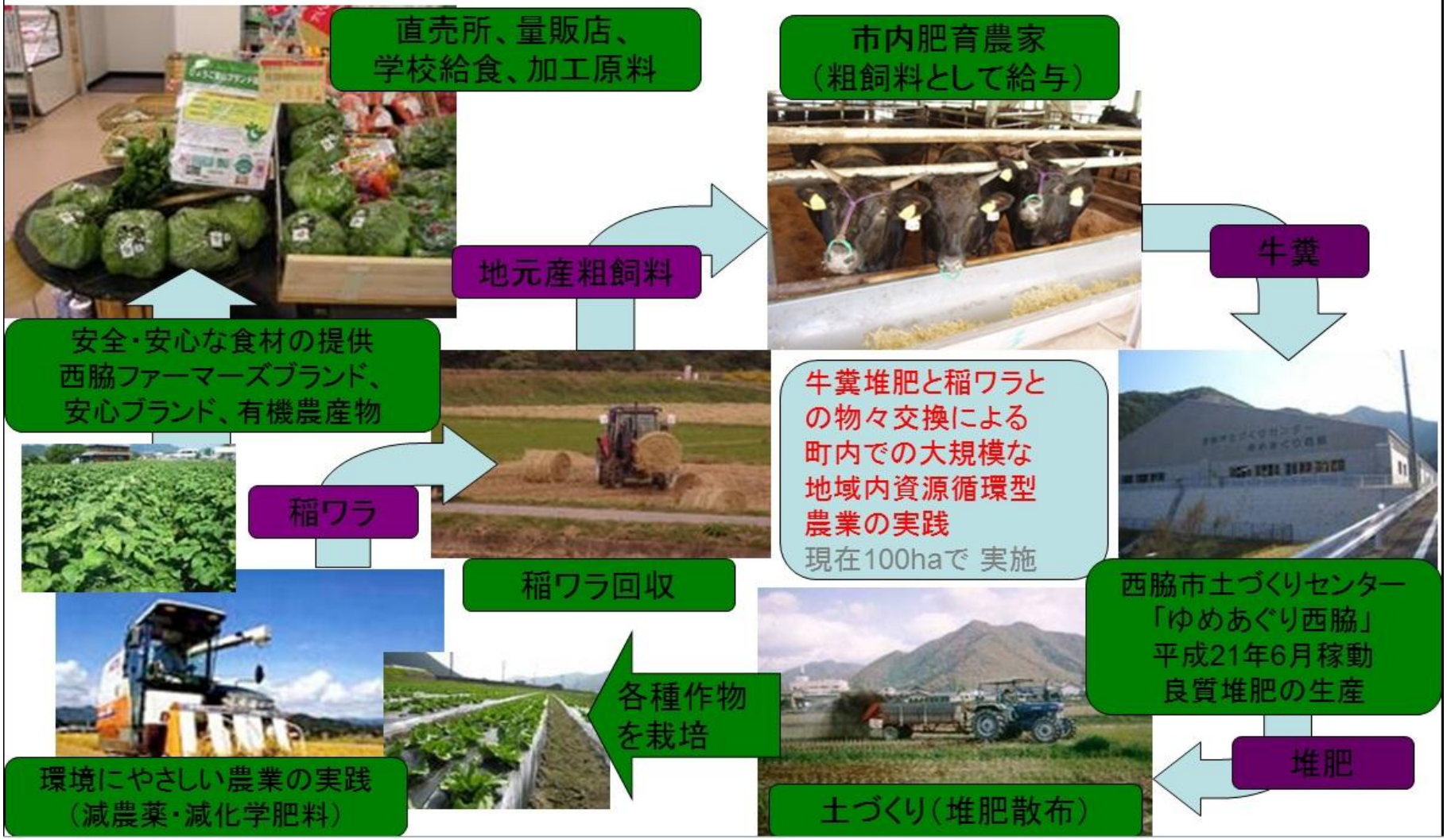
○　我が国、1億3千万人の国民が最終消費している飲食料費は80兆円を超えている。
　近年、食の簡便化志向の高まりや外部化の進展を反映して、外食、加工食品が増加しており、食品産業全体としての規模は拡大・発展してきている。

（単位：兆円）



資料：総務省他9省庁「産業連関表」を基に農林水産省で試算。

「西脇市有機の里づくり」推進に向け



おやこ食育アカデミー♡2013

参加者 大募集

発酵食品大国にっぽん！

微生物の働きから健康な食文化と農をまなぶ

微生物は、通常目には見えませんが、この環境中にたくさん生息しており、私たちの住む環境や健康を守ってくれています。また、ごはんとみそ汁（発酵食品）を中心とした食スタイルは、我が国の気候風土から生まれた伝統的な暮らしの文化であり、健康に生きる基本的な食生活です。発酵食品も微生物の働きによってできるものです。

ところが、昨今、環境が汚れ、伝統的な食卓の風景も消えつつあるため、微生物の働きも低下してきています。その結果、ヒトにも様々な病気が増えました。今一度、微生物とヒトとのつながり、ヒトの健康に対するごはんや発酵食品の大切さ、微生物と日本の環境などに着目した“食育”について、親子で一緒に考えてみませんか？

親子で楽しめる農業体験、調理実習、かまどで炊飯、食育学習等を盛り込んだ魅力たっぷりのプログラムです！！！さらに、神戸大学名誉教授の保田茂先生が確立された、低温発酵有機資材を使った有機農業と土づくりの方法についてもご指導頂きます。皆様のご参加をお待ちしています。

日程表

回	日程	午前		昼食	午後	
1	6/16（日）	開校式	大豆の種まき	旬のお野菜たっぷりお弁当	大地の栄養とごはんのはなし	健康な食べ方のはなし
	講師		保田茂先生		保田茂先生	陽子先生 食の Venus メンバー
2	10/13（日）	納豆づくり		地元の旬の野菜をつかった 食の Venus 特製ランチ	土作りと土の微生物のはなし	
	講師	食の Venus			保田茂先生	
3	11/17（日）	大豆の収穫体験				
	講師	保田茂先生				
4	12/1（日）	かまどで炊飯体験 食の Venus 特性カレー付き			納豆の報告会 大豆の選別	身体の中の発酵のはなし
	講師	保田茂先生と食の Venus			参加者のみなさん	陽子先生 食の Venus メンバー
5	1/19（日）	みそづくり体験		災害時を想定した、 ごはん炊きとおみそ汁	修了式	
	講師	保田茂先生と食の Venus		食の Venus		

共　催　兵庫農漁村社会研究所-食育研究部（食の Venus）「NPO 法人」申請中
（株）トーホー

協　力　兵庫県農政環境部農業改良課、（公社）兵庫みどり公社兵庫楽農生活センター

申し込み　詳細は裏面へ

申し込み・問い合わせ

☆ 対象　：兵庫県内の小学生親子（30 組）
子供だけの参加は不可、必ず保護者同伴のこと（祖父母の参加は OK）

☆ 参加費：入会金　大人 3,000 円、子供 1,500 円（教材、材料費込み）
講座料　一回につき(昼食、資料代込み)　大人 1,000 円、子供 500 円　*ただし 3 回目は無料
（2 才以下のご兄弟参加の場合は無料、ただし昼食は付きません。）
初回は講座料と共に入会金を頂きます。2 回目以降の講座料は、その都度頂戴します。

☆ 申し込み：電話、FAX、メールにて下記まで
・FAX の場合:下記に必要事項を記入し送信して下さい
・メールの場合: 下記アドレス宛にタイトル「アカデミー申し込み」で空メールを送って下さい

兵庫農漁村社会研究所-食育研究部（食の Venus）山下陽子
〒651－2276　神戸市西区春日台 2－12－34
電話/ FAX　：078-961-5575
mail　：syoku_venus415@yahoo.co.jp

※お申込み下さいました方には、当日の場所・持ち物、服装・その他詳細を改めてご連絡させて頂きます。

締切　：　6 月 7 日（先着順）

☆ 日 時：10 時～15 時頃（天候により、日程や内容を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。）

☆ 場 所：兵庫楽農生活センター　〒651-2304　兵庫県神戸市西区神出町小東野 30-17

☆ 5 回シリーズで開催します。

参加申込書（FAX 用）

FAX 番号　078－961－5575

参加希望者			
住所	〒		
電話番号		携帯番号	
Mail			

氏名	年齢

☆ お問い合わせは上記 “食の Venus” 事務局まで

1. 用語集

【あ行】

● エコファーマー

持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律に基づき、土づくり技術、化学肥料使用低減技術、化学合成農薬使用低減技術を一体的に導入する計画を立て、都道府県知事の認定を受けた農業者。

● おいしいごはんを食べよう県民運動

「お米」を通じて、今後の食生活のあり方や農業・農村の役割、食料問題などについて考え、ごはん食の素晴らしさや食生活の大切さを再認識するために、兵庫県内の団体・企業・行政等が一体となって取り組んでいる運動。

【か行】

● 学校農園

子ども達が自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深めること等を目的として、農業者などが一連の農作業等の体験の機会を提供する農園。

● 環境創造型農業

農薬や肥料の適正使用に加え、効率的な土づくり、リサイクルの促進、計画的な作付け、クリーンなエネルギー利用等によって、自然生態系の活力を可能な限り生かした農業であり、有機農業も一つの形態である。

● 観光農園

観光客等の第三者を対象に、自ら生産した農産物をほ場において収穫等の一部の農作業を体験させ又は観賞させて、代金を得ている農園。

● 基幹的農業従事者

農業就業人口（自営農業に主として従事した世帯員）のうち、ふだん仕事として主に農業に従事している者。

● 黒田庄和牛

兵庫県産の但馬牛を素牛として、黒田庄町内の畜産農家によって西脇市内で肥育された未経産牛または去勢牛。

● 経営耕地

農家が経営する耕地（田、樹園地、畑の合計）。耕作放棄地（遊休農地）は含ない。

● 経営所得安定対策制度

米などの農産物の価格が生産コストを下回った場合に、国がその差額分を生産農家に補償する制度。

● 兼業農家

世帯員のうち一人以上が農業以外の仕事に従事して収入を得ている農家。

● 耕作放棄地

農林業センサスにおいて、「以前耕地であったもので、過去1年以上作付けせず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地」と定義されている統計用語。

● 耕種農家

耕地等を利用して農作物を栽培する農家。

● 高付加価値化

農産物に加工や調理、従来のものよりも優れた鮮度、安全性、糖度など価値を付加すること。他の農産物と差別化ができ価値の高い農産物を供給する事によって、効率の良い農業経営が期待できる。

● 神戸肉（または神戸牛、神戸ビーフ）

兵庫県産の但馬牛を素牛として指定生産者が肥育し、県内の食肉センターに出荷した未経産牛または去勢牛のうち、ＢＭＳ（霜降りの割合基準）が６以上の肉質で、歩留等級（赤身の割合基準）がＡ・Ｂ等級、枝肉重量が470kg以下のものをいう。

● 交流型農業

都市と農村、消費者と農業者の連携や交流を目的とした農業。

【さ行】

● 作業受委託

委託者が栽培作業を受託者側に任せ、受託者は自分の機械、資材等を用いて作物を栽培し、その収穫物を委託者に渡す。作業受委託にあたり両者間で事前に一定の作業料金、収穫物の取引等を決めておく。

● 市街化区域

都市計画法に基づき指定されたすでに市街地を形成している区域及び概ね10年以内に優先的、計画的に市街化を図るべき区域。

● 市街化調整区域

都市計画で定められる都市計画区域における区域区分のひとつであり、市街化を抑制すべき区域。この区域では、開発行為は原則として抑制され、都市施設の整備も原則として行われない。

● 市民農園

一般市民がレクリエーションや自家用野菜の生産を目的として、小区画の農地を利用して野菜や花を育てるための農園のことで、休憩・宿泊等に使用する簡単な小屋を併設した滞在型の農園もある。

● JAS法（農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律）

食料品などについて規格や表示のルールを定めることにより、消費者が正しい情報を得て安心して食料品などを購入できるようにすることや、良い商品を消費者に届けようとする生産者の努力が報われるようにすることを目的とする法律。

● 集落営農（営農組合）

集落など地縁的にまとまりのある一定の地域内の農家が農業生産を共同して行う営農活動。共同購入した機械の共同利用、中心的な担い手に主な作業を委託し、生産から販売まで共同化するなど、地域の実情に応じてその形態や取組内容は多様。

● 食育

国民一人一人が、生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等が図られるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を身に付けるための学習等の取組のこと。

● 食料自給率

国民に供給された食料のうち、国内生産でまかなえた割合を示す。主にカロリーの比率で計算された供給熱量自給率（カロリーベース）で示される。

● 食料・農業・農村基本計画

食料・農業・農村基本法に基づいて、食料・農業・農村に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために、政府が閣議決定して定める計画。

● 新規就農者

新たに就農した者をいう。そのうち農家子弟で、学校卒業後直ちに就農した者を「新規学卒就農者」といい、他産業に従事した後に就農した者を「Uターン就農者（離職就農者）」という。また農家子弟以外で、新たに農業経営を開始した者を「新規参入者」という。

● 水源のかん養

山林や農地が有する保水・水質浄化・防災機能のこと。山林や農地に蓄えられた雨水は、浄化され、地下水となり、長い時間をかけて河川に還元され、河川流量の安定化等による防災機能を果たしている。

● 水田台帳

市町村等地域内の農業者ごとの水田面積、作物の内容等について整理されている台帳。

● 水利組合

水田に水を引くために水路やため池の日常の維持管理や水害予防のために活動している農業者の任意団体。ボランティア的に地域の水利秩序の維持に取り組んでいる。

● 生物多様性

いろいろな生物が存在しているようす。生態系の多様性、種における多様性、遺伝子の多様性など、各々の段階でさまざまな生命が豊かに存在すること。

● 専業農家

世帯員に兼業従事者（30日以上他に雇用され仕事をしたもの又は農業を除く自営業で15万円以上の販売金額を得た者）が一人もいない農家。

【た行】

● 第１種兼業農家

世帯員のなかに兼業従事者が1人以上おり、かつ農業所得の方が兼業所得よりも多い農家。

● 第２種兼業農家

世帯員のなかに兼業従事者が1人以上おり、かつ兼業所得の方が農業所得よりも多い農家。

● 但馬牛

和牛の品種のひとつである黒毛和種の中で、古くから但馬地域を中心として血統の純粋性を保ちながら改良を重ねて創り上げられてきた系統の牛を但馬牛（たじまうし）と呼び、現在は県下各地で飼育されている。 但馬牛（たじまうし）が肥育されて食肉となったものを但馬牛（たじまぎゅう）と呼び、すぐれた肉質で国内外に広く知られている。

● 多面的機能

国土の保全、自然環境の保全、良好な景観の形成、

教育・福祉分野での貢献など、農業生産活動が行われることにより生ずる農産物の供給機能以外の多面にわたる機能。

● 地域資源

自然資源のほか、特定の地域に存在する特徴的なものを資源として活用可能な物と捉え、人的・人文的な資源をも含む広義の総称。地域活性化の試みにおいて特徴・素材となるものを地域資源として定義し、活用する考え方が広まっている。

● 地域就農支援センター（地就支センタ、就支セ）

JA、市町、農業関係者が一丸となって、県内各地域における就農における相談、各種情報提供や研修機関の紹介をはじめ、経営確立まで段階的に支援を行っている。農業改良普及センターに設置されている。

● 地産地消

地域で生産された農産物等をその地域で消費すること。消費者と生産者の距離を縮め、相互理解の促進､輸送距離の短縮等による環境への負荷軽減など、多くの効果が期待される。

● 中山間地域等直接支払制度

中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正する農家等への交付金により、農業生産活動の維持を通じて、耕作放棄の発生を防止し、多面的機能の確保を図る制度。交付の対象となるのは、自然的・経済的・社会的条件の不利な地域にあり、かつ、農業生産条件の不利な農地。交付を受けるには、農家が集落協定等を結び、農業生産活動等を５年間以上継続して行う必要がある。

● 定年帰農

農村出身者が定年退職後に故郷の農村に戻り、農業に従事すること。また、出身を問わず、定年退職者が農村に移住し、農業に従事することもいう。

● 特定外来生物

外来生物のうち「特定外来生物防止法」で指定されたもの。在来の生物を補食したり、生態系に害を及ぼす可能性がある。ブラックバス(オオクチバス)、カミツキガメ、アライグマ、ヌートリアなど。西脇市内では、アライグマとヌートリアによる農作物被害が生じており、防除計画を策定している。

● トレーサビリティ

食品の生産、加工、流通などのそれぞれの段階で原料の仕入れや食品の製造元、販売先などの記録を取り、保管することによって、食品のたどってきたルートと情報の追跡・遡及ができる仕組み。

【な行】

● 日本型食生活

米、魚、野菜、大豆を中心とした伝統的な食生活のパターンに、肉類、牛乳・乳製品、油脂、果物などが豊富に加わって、多様性があり、栄養バランスのとれた健康的で豊かな食生活のこと。欧米に比べて、熱量水準が体位・体格から見てほぼ満足すべき水準に達しており、たんぱく質、脂質、炭水化物の組み合わせバランスがとれていること、食品の種類に多様性があり、たんぱく質の中では、植物性たんぱく質が多く、また、水産物の割合が高いという特徴がある。

● 西脇市食育基本方針

市民及び食に関わるすべての関係機関が、食文化の継承、食環境への配慮、望ましい食習慣の確立等の施策を推進するため、食育の基本的な考え方としてとりまとめた指針。

● 西脇市総合計画 後期基本計画H25～30

西脇市のまちづくりの指針となる計画。この計画では、目指す平成30年度のまちの姿を、「いのちいきいき　自然きらきら　共生のまち　にしわき」と定め、特に後期基本計画では「まちづくりの重点プロジェクト」を打ち出し、市民主役のまちづくりを進めている。平成25年3月策定。

● 西脇市担い手育成総合支援協議会

西脇市において経営感覚に優れ、効率的かつ安定的な担い手の育成･確保を図るために設立。西脇市・JAみのり・農業委員会・県普及センターから構成される組織。対象者は認定農業者等。認定農業の認定・更新や研修・勉強会を実施している。

● 西脇市農業再生協議会

西脇市・JAみのり・農会・農業委員会・認定農業者代表、学識経験者、担い手協議会、耕作放棄地対策協議会、西脇多可行政事務組合から構成される組織。水田農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持するために設立。経営所得安定対策制度を、国と連携し実施している。地区農会との結びつきが強い。

● 西脇市農業振興地域整備計画

市が策定する農業振興地域における総合的な農業振興計画。平成24年改定。

● 西脇ファーマー

環境に優しい循環型社会の構築と安全安心で高品質な農産物の生産拡大を図るための西脇市の制度。市が認定する、有機質資材による土づくりの実践や、化学合成農薬等の使用を削減した栽培方法に取組む農業者。平成25年から始まる。

●西脇ファーマーズブランド

西脇ファーマーが生産した農産物。西脇ファーマーズブランド認証マークの貼付が可能となる。

●認定農業者

農業経営基盤強化促進法に基づき、５年後を目標とした農業経営改善計画が市町村によって認定された農業者。地域の中心的担い手。

● 農会（地域農会）

市町村の区域の一部において、農作業や農業用水の利用を中心に、家と家とが地縁的に結びついた社会生活の基礎的な地域単位のこと。明石市内においては、各集落の農業者で構成された任意団体であり、地域農業の問題点や課題を行政やJAに連絡したり、逆に、行政やJAから農政に関わる事項を農家に伝えるなど地域で重要な役割を果たしている。

● 農業委員会

農業委員会等に関する法律に基づき市町村に設置される行政委員会。選挙委員と、選任委員によって構成される農業者の代表機能を有した合議体組織。農業委員会は、農地法等の規定により専属的な権限を行使する法令業務の執行機関及び農地の荒廃・乱開発を防ぎ、優良農地を確保する役割を担っている。

● 農業経営改善計画

農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者になるために市町に提出する計画。農業経営の現状、５年後に実現をめざす農業経営の改善に関する目標、目標を達成するためにとるべき措置を記載する。市町から農業経営改善計画の認定を受けた者が認定農業者である。

● 農業生産基盤（生産基盤）

農業生産を効率的、安定的に行うための基盤。ほ場、用排水路、農道、その他農業用施設等。地域整備的な側面も有し、災害防止効果も高い。

● 農業振興地域

農業振興地域の整備に関する法律（以下農振法）に基づき、市町村が策定する農業振興地域整備計画により決定される長期にわたり総合的に農業振興を図るべき地域。

●農商工連携

農林水産業者と商工業者がそれぞれの有する経営資源を互いに持ち寄り、新商品・新サービスの開発等を行う取組み。「中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律」により、中小企業者及び農林漁業者の共同による事業計画を国が認定し、認定された計画に基づいて事業者を各種支援策でサポートする制度がある。

● 農振白地

農業振興地域のうち農用地区域以外の区域（非農用地区域）の通称。

● 農振農用地（農用地区域）

農振法に基づき農業振興地域内において今後相当長期にわたり農業上の利用を確保すべき土地として市町村が農業振興地域整備計画で用途（農地、採草放牧地、農業用施設用地等）を定めて設定する区域。

● 農地転用

農地として登記してある土地を、他の用途に転用すること。

● 農地の利用集積（利用集積）

農地を利用するため「所有」「借入」「農作業受託」により集積すること。農業経営基盤強化促進法で定められている農地の貸し借りは、農地の権利移動に要する農地法の手続きが不要。また、市町村や農業委員会などの公的機関が介在するので、安心して農地の賃借・売買ができる。

● 農地パトロール

遊休農地等の実態把握と発生防止・解消対策、農地の違反転用発生防止対策、不法投棄防止など農地保全を目的に農業委員会が実施するパトロール。

● 農地・水・環境保全対策

農地や水路等の保全や農村環境を守る質の高い地域共同の取り組みと、環境保全に向けた先進的な営農活動を支援する制度。集落等の一定のまとまりを

持った活動組織が、市町との協定により明確化した保全活動等を行う場合に支援金が交付される。

● 農用地

耕作を目的とする農地と採草地・放牧地を合わせていう語。

【は行】

● 販売農家

経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が年間50万円以上の農家。

● 北播磨地域農林水産ビジョン

兵庫県北播磨県民局が北播磨地域における農林水産業の振興を図ることを目的に策定する行政指針。平成24年3月改定。

● ひょうご安心ブランド（農産物）

化学合成された農薬や肥料の使用を低減する生産方式（有機質肥料使用、防虫ネットの利用等）によって農産物を生産し、かつ農薬を使用した場合は残留農薬の自主検査（食品衛生法における残留農薬基準等の国基準の１／10以下とする）ができる体制を整備した生産集団を県が認定する。認定を受けた生産集団が生産した農産物を「ひょうご安心ブランド農産物」として、認定マークを貼付し、流通させる制度。

● ひょうご食品認証制度（兵庫県認証食品）

「安全・安心」かつ「個性・特長」がある県産食品を、県が確認して認証する制度を平成16年７月に創設。県内産の農産物・畜産物・水産物および加工食品が対象で、認証された食品は兵庫県認証食品として、認証マークを貼付する。「ひょうご安心ブランド農産物」や「ひょうごブランド商品」も認証食品に含まれる。

● ひょうご農林水産ビジョン

兵庫県の農林水産行政についての基本的な指針。平成24年3月改定。

● ほ(圃)場整備

営農の効率化を図るため、狭小で不整形な農地の区画の整備とともに、用排水路や農道等の整備を一体的に行う整備。

【や行】

● 遊休農地

農地法において、 耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地。

● 優良農地

一連のまとまりのある農地や、農業水利施設の整備等を行ったことによって生産性が向上した農地など良好な営農条件を備えた農地。

【ら行】

● ６次産業化

１次産業としての農林漁業と、２次産業としての製造業、３次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組。

● 猟友会

日本国内における狩猟者のための公益法人（特例社団法人）。一般的に、各狩猟者は地域（市町村別程度の範囲)にある狩猟愛好者団体(「地元猟友会」)に所属して会員となる。外来動物による生態系の破壊、農作物被害などを防ぐために、行政と協力し有害となる鳥獣の捕獲を行っている。

【わ行】

【アルファベット】

● ＣＳＲ

Corporate Social Responsibilityの略。企業の社会的責任という意で、環境活動や農業を通じて、企業が地域社会への貢献を図る取組をいう。

● ＥＰＡ（経済連携協定）

Economic Partnership Agreementの略称。特定の２国間又は複数国間で、域内のヒト、モノ、カネの移動の自由化･円滑化を図るため､投資規制の撤廃、人的交流の拡大、各分野での協力など幅広い経済関係の強化を目的とする協定。

● ＦＴＡ（自由貿易協定）

Free Trade Agreementの略称。特定の国や地域の間で物品の関税撤廃やサービスへの外資規制撤廃などを目的とする協定。ＦＴＡはＥＰＡの主要な内容

の一つ。

● GAP(ギャップ)

Good Agricultural Practiceの略。生産者自らが農業生産工程の全体を見通して、食品安全・環境保全をはじめ様々な観点から注意すべき管理点(点検項目)を定め、これに沿って農作業を実施・記録し、検証を行って農作業の改善に結びつけていく一連の農業生産工程管理手法。

● HACCP

Hazard Analysis Critical ControlPointの略。食品の原料の受け入れから製造・出荷までのすべての工程において、危害の発生を防止するために重要ポイントを継続的に監視・記録する衛生管理手法。

● ＰＤＣＡ

Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）のことで、生産・品質などの管理を円滑に進めるための業務管理手法の一つとであり、近年では行政計画の進捗管理の手法として用いられている。

● ＴＰＰ

環太平洋パートナーシップ協定。加盟国の間で取引される品目に対して関税を撤廃原則的に100パーセント撤廃しようという枠組み。工業製品や農産品、金融サービスなどをはじめ、全品目について、2015年をめどに関税全廃を実現するべく協議が行われている。2010年11月の時点で、米国、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシアの5ヵ国がTPPへの参加を表明し、次いでコロンビアやカナダも参加の意向を表明している。日本は2011年11月にTPPへの交渉参加を表明した。